さいたま市立大宮南小学校　　令和８年10月31日　No.7

大宮南小だより

ＴＥＬ　６４１－０３３９
ＦＡＸ　６４１－０３６６
http://omiyaminami-e@saitama-city.ed.jp

「読書三到」と心に残る「自分の一冊」との出逢いを

校　長　　永　山　　誉

季節は初霜の時期を迎え、朝夕はかなり寒くなってきました。校庭の木々も少しずつ色づきはじめ、いよいよ秋本番といったところです。「食欲の秋」「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」・・・。それぞれが、それぞれの秋を楽しむ季節となりました。「灯火親しむ秋」、爽やかな気候と夜の長いこの季節、御家族そろって読書でもいかがでしょうか。

さて、読書といえば、子どもの本離れが言われて久しくなりますが、今年も大宮南小学校では、読書への関心を高め、心を豊かにする本や学習に役立つ本を進んで読む態度を養うとともに、学校図書館の活用をさらに進める機会として、１０月２１日～１１月２７日に「読書まつり」を、図書委員会を中心に実施しています。読書は、子どもたちの心情や感性を豊かなものにすると言われますが、本に慣れ親しんでいない子どもたちにとっては、読書をしようといってもなかなか本に手が届かないものです。そのような子どもたちにとっても、「読書まつり」をきっかけとして、新たな本に手を伸ばして、心に残る「自分の一冊」に出逢ってほしいものです。

ところで、「読書三到（どくしょさんとう）」という言葉を御存知でしょうか。これは、宋の朱熹（しゅき）が唱えた、読書に大切な３つの心得のことです。「三到」とは、目でよく見ること（眼到）、声を出して読むこと（口到）、心を集中して読むこと（心到）の３つを指します。本を読むとき、眼・口・心をその本に集中して熟読すれば、内容がよく理解されるということを示しています。子どもたちには、爽やかな気候の下、この３つの心得をもって読書に取り組みながら、読書の楽しさも同時に味わってもらいたいと考えています。

【「心を潤す４つの言葉」推進週間の取組について】

さいたま市では、各学校において１１月に「心を潤す４つの言葉」推進週間を設定し、児童・教職員・保護者・地域の方々が、積極的に気持ちのよいあいさつや返事、心をこめた素直な言葉を交わすことによって、一人ひとりの心が通う学校や地域づくりを目指すことを目的として様々な取組を実施します。大宮南小学校においても、１１月１６日～２０日の間、「心を潤す４つの言葉」のさらなる推進を図る期間として、南風委員会で取組内容について検討し実施いたします。保護者の皆様や地域の皆様におかれましても、子どもたちの登下校時に積極的にお声掛けをお願いします。

※　心を潤す４つの言葉ー「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」「はい」

東日本学校吹奏楽大会、２年連続４回目の金賞受賞

１０月１１日（日）に行われました第２６回東日本学校吹奏楽大会（石川県金沢市・金沢歌劇座にて開催）に本校吹奏楽部が出場し、お蔭様で金賞を受賞しました。温かな応援をいただき、誠にありがとうございました。この後は、１１月３日（火）文化の日に行われます第３２回日本管楽合奏コンテスト（文京シビックホールにて開催）に出演予定です。また、これまでの皆様方からの応援に対する感謝の気持ちを込めて、１１月２９日（日）大宮南地区社会福祉協議会主催「ふれあいまつり２０２６」（大宮南中・体育館）において、受賞曲を披露させていただきます。是非御鑑賞ください。